

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地			
麻生建築&デザイン専門学校		平成9年11月26日		竹口 伸一郎		〒812-0016 福岡県福岡市博多区博多駅南1-11-13 (電話) 092-415-2292			
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地			
学校法人 麻生塾		昭和26年3月12日		麻生 健		〒820-0018 福岡県飯塚市芳雄町 3-83 (電話) 0948-25-5999			
分野	認定課程名	認定学科名			専門士	高度専門士			
工業	工業専門課程	ビジュアルデザイン科			平成25年文部科学省 告示第3号	—			
学科の目的	グラフィック、色彩、印刷、WEBなどの基礎知識や技術を習得することを目的とする。また、広告制作に必要なメディア特性・マーケティングなど実践に即したデザインの流れも学習し、幅広く活躍できるデザイナーを目指す。								
認定年月日	平成26年3月31日								
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技		
	2年 昼間	1830時間	645時間	1365時間	-	-	-		
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数				
60人	39人	3人	2人	8人	10人				
学期制度	■前期: 4月1日~8月31日 ■後期: 9月1日~3月31日			成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 5段階評価、3分の2以上の出席が必要				
長期休み	■学年始: 4月1日~4月8日 ■夏季: 8月7日~9月3日 ■冬季: 12月24日~1月8日 ■学年末: 2月1日~3月31日			卒業・進級 条件	単位を取得していること 卒業基準検定を取得している 学年の出席率が90%以上 学生としてふさわしい生活態度				
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 各種検定対策補講、数学ゼミ(希望者)			課外活動	■課外活動の種類 ボランティア活動 ■サークル活動: 有				
就職等の 状況	■主な就職先、業界等(平成28年度卒業生) 広告制作会社、広告代理店			主な学修成果 (資格・検定等)	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (平成28年度卒業者に関する平成29年5月1日時点の情報)				
	■就職指導内容 面接指導、履歴書指導、求人票説明・指導				資格・検定名	種	受験者数	合格者数	
	■卒業生数 : 17 人 ■就職希望者数 : 17 人 ■就職者数 : 17 人 ■就職率 : 100 % ■卒業者に占める就職者の割合 : 100 %				Illustratorクリエイター 能力認定試験	③	17人	11人	
	■その他 ・進学者数: 0人				Photoshopクリエイター 能力認定試験	③	17人	10人	
(平成 28 年度卒業者に関する 平成29年5月1日 時点の情報)			カラーデザイン検定	③	17人	14人			
*種別の欄には、各資格・検定について、以下の①~③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等)									
■自由記述欄 久留米市総合美術展:特選1名、佳作1名、奨励賞1名、入選8名 福岡ストウーデントコンペティション:入選2名 その他、多数のコンペなどに参加・入賞。									
中途退学の 現状	■中途退学者 0名 平成28年4月1日時点において、在学者39名(平成28年4月1日入学者を含む) 平成29年3月31日時点において、在学者39名(平成29年3月31日卒業者を含む)			■中退率 0%					
■中途退学のための理由 なし									
■中退防止・中退者支援のための取組 ガイダンス カウンセリング 学生・保護者・担任での三者面談									
経済的支援 制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 ・経済的理由により修学困難である者に対して授業料を減免する。 ・東日本大震災により被災し進学が困難になった者を対象に入学金・校納金・寮費を全額免除する。(卒業まで) ■専門実践教育訓練給付: 給付対象 前年度の給付実績者数: 1名								
第三者による 学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無								
当該学科の ホームページ URL	http://www.asoiuku.ac.jp/act/subject/visual/								

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針
 専門性に関する動向や地域産業振興の方向性等について、意見交換等を通じて、より実践的な職業教育の質を確保することを目的として、教育課程編成委員会を設置し、授業科目の開設や授業方法の改善・工夫に生かす。
 また、広く建築業界の動向や求められる知識レベルを把握するためお客様アンケートを実施し、現場の求めるニーズを確実に捉え、本校の授業内容やカリキュラムに反映する。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け
 第1回委員会にてカリキュラムに関する意見収集を行い、学内のカリキュラム編成会議の際に取り入れる。その後、第2回会議にて決定してカリキュラムの報告を行う。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

平成29年7月1日現在

名 前	所 属	任 期	種 別
植田 義孝	ユーデザイン代表	平成29年4月1日～ 平成30年3月31日	③
三並 恒功	株式会社 PBM 代表取締役	平成29年4月1日～ 平成30年3月31日	③
上原 淳司	ダイキエンジニアリング 人事部長	平成29年4月1日～ 平成30年3月31日	③
合瀬 理栄	国際カラーデザイン協会	平成29年4月1日～ 平成30年3月31日	①
竹口 伸一郎	麻生建築&デザイン専門学校 校長	平成29年4月1日～ 平成30年3月31日	
熊野 学	麻生建築&デザイン専門学校 校長代行	平成29年4月1日～ 平成30年3月31日	
今泉 清太	麻生建築&デザイン専門学校 主任	平成29年4月1日～ 平成30年3月31日	
松本 剛太	麻生建築&デザイン専門学校 教員	平成29年4月1日～ 平成30年3月31日	
八尋 誠	麻生建築&デザイン専門学校 教員	平成29年4月1日～ 平成30年3月31日	

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員
 (1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

年2回、開催時期は7月初旬、10月下旬

(開催日時)

平成28年度 第1回 平成28年 7月 1日 17:45～18:25
 平成28年度 第2回 平成28年11月24日 17:10～17:50
 平成29年度 第1回 平成29年 6月30日 17:00～18:30
 平成29年度 第2回 平成29年11月24日 予定

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

委員より、WebWebメディアに関する現場のニーズについて、「グラフィックをうまくコントロールできるモノづくりができる人材ニーズが高い」との意見があった。また、「マーケティングからコーディングなど必要となる知識・技術の幅も広いため【手法→考え方→分析】という学びができることを検討してはどうか」との意見があった。具体的な意見活用を反映し、以下の教育機会を設けた。

より広い分野という意味で、WEB制作とディレクションに注力し、専攻科目を追加した。
企業による、現実的なマーケットを睨んだコンペティションに関する講話などを実施し、商業デザインにおける、説得力の強化に努めている。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

企業からの要請等を十分にいかすために企業からのヒアリングやアンケートを行い、その結果を踏まえながらビジュアルデザイン分野に関する職業に必要な4つの分野(エディトリアル・Web,イラストレーション、デジタルフォト)の技術修得に関して、企業との連携により業界でのトレンドなど加味した極めて実務に近い課題演習を行うことで学生のスキル向上を目指す。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

- ・企業担当者が実務にて活用した素材や企画などを、演習にて使用している。
担当者が実際担当した顧客の依頼案件に対し、どのように考え、計画し、制作したかのプロセスを示し、実際に使用された素材を学生各自が再構成していく演習を設けている。
- ・演習に、より実習に近づけるといって効果向上を実現している。
実際担当した具体的顧客像や顧客嗜好にそった提案がなされたか、あるいは案件の課題に対する解決策としての適切さを示したか等の実務的有効性観点から評価を検討し、教員とも評価の共有を図った。

科目名	科目概要	連携企業等
デザイン概論A・B	広告・企業とデザインといった視点から、体系化されたデザイン論を学ぶ。	クリエイティブルーム ERNEST

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という)の基本方針

「職員研修規程」に基づき計画的に教員を研修に参加させる。研修は、教職員に対して、現在就いている職又は将来就くことが予想される職に係る職務の遂行に必要な知識又は技能等を修得させ、その遂行に必要な教職員の能力及び資質等の向上を図ることを目的とする。

教職員に対し、専攻分野における実務に関する研修や、指導力の修得・向上のための研修を、教職員の業務経験や能力、担当する授業科目や授業以外の担当業務に応じて実施し、受講者はその内容を他教員へ展開することで、全教員のより高度な職務を遂行するために必要な知識を付与することを目的とする。

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

- ・あらゆる媒体にも使用できるARコンテンツ作成勉強会に参加。

名称:「ARコンテンツ作成勉強会」
講師:九州先端科学技術研究所 吉永様
目的:授業活用素材の研究のため
日程:2016年6月15日
Web系授業担当者1名参加

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名:「ID(インストラクショナルデザイン) I
 講師:岡村 慎一氏(専門学校YICグループ)
 目的:インストラクショナルデザインを用いた体系的なカリキュラム、シラバスの開発方法を習得する。
 内容:インストラクショナルデザインの概要、学習目標の明確化、効果測定と評価。
 日程:2016年9月7日 9:00~17:30

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

・印刷会社の工場技術の見学と、昨今の業界動向の講話
 企業名:株式会社ゼネラルアサヒ
 担当者:平田様
 目的:印刷技術のトレンド、メディア戦略の実践現場の視察
 日程:2017年6月6日

・デザイン制作会社との、連携ワークショップの共同企画
 ワークショップテーマ:「香椎駅利用者に向けた 子供向けクリスマスオーナメント制作」
 連携先企業:株式会社ジーエータップ
 担当:大宝様
 目的:学生のデザイン業界従事者と実際に触れ合う機会をつくる
 2017年10月~12月(※計画) 連携課題について調整中

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名:「発達障害の理解について」
 講師:桑原 由美子 (NPO法人 発達障がい者支援 ゆあしっふ 理事長)
 目的:学生面談・学生指導における基本的知識を習得する。
 内容:発達障害とは何かを理解し、学生との関わり方の基本について学ぶ。
 日程:2017年4月26日 16:00~17:30

2017年8月日(※計画)「発達障がい者の対応について」(児童発達支援センターこだま 緒方よしみ園長)

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

実践的な職業教育の質を確保するため、教育活動の観察や意見交換を通じて、自己評価の結果を評価しHP等を通して公表する。また、学校関係者評価委員会は、本校の関係者として、保護者・卒業生・地域住民・企業関係者・高等学校関係者・教育に関する有識者で構成する。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	建学の精神、法人の理念、教育理念、学科の教育目的・育成人材像、他
(2)学校運営	教員組織の整備、運営会議での共有、防災・非常時対策、コンプライアンス
(3)教育活動	業界の人材ニーズに沿った教育、授業評価による改善、付加的教育、他
(4)学修成果	教育目的達成に向けた目標設定、事後の評価・検証、学生の就職活動・卒業率
(5)学生支援	担任他との定期面談、有資格者との就職相談・生活相談、奨学金、卒業生支援
(6)教育環境	教育設備・教具の管理・整備、安全対策、就職指導室・図書室の整備、他

(7) 学生の受入れ募集	APの明示、進路ニーズ把握、パンフレット・募集要項の内容、公正・適切な入試
(8) 財務	財政的基盤の確立、適切な予算編成・執行、会計監査、財務情報公開
(9) 法令等の遵守	規程通りの運営、個人情報保護、ハラスメント防止、学内規程の整備
(10) 社会貢献・地域貢献	社会的活動の推進・実施、公開講座、企業・地域・行政との連携
(11) 国際交流	留学生の受入れ・支援

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

自己点検評価報告書に基づく評価項目(中項目)は全て適合の判定結果であった。

その中で、地階の喫煙コーナーと駐輪場の分煙化の促進についての要望があり、喫煙コーナーを換気の良い端隅に移動することで、喫煙者と非喫煙者の混合を防ぐように改善した。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

平成29年7月1日現在

名 前	所 属	任 期	種 別
永田 和弘	在校生保護者	平成29年4月1日～ 平成31年3月31日	保護者
森 大之	H28年度卒業生	平成29年4月1日～ 平成31年3月31日	卒業生
川藤 勝治	博多区博多駅南第4区自治会 自治会長	平成29年4月1日～ 平成31年3月31日	地域住民
高木 秀樹	株式会社 住まいえ 代表取締役	平成29年4月1日～ 平成31年3月31日	企業関係者
横山 猛	株式会社 九州三田技術コンサルタンツ センター長	平成29年4月1日～ 平成31年3月31日	企業関係者
高崎 強	株式会社 久米設計 九州支社 副支社長	平成29年4月1日～ 平成31年3月31日	企業関係者
戸田 康仁郎	株式会社 大設計 総務部長	平成29年4月1日～ 平成31年3月31日	企業関係者
及川 雅史	株式会社 テクノプロ・コンストラクション 労政課長	平成29年4月1日～ 平成31年3月31日	企業関係者
三並 恒功	株式会社 PBM 代表取締役	平成29年4月1日～ 平成31年3月31日	企業関係者
上原 淳司	株式会社 ダイキエンジニアリング 人事部長	平成29年4月1日～ 平成31年3月31日	企業関係者
平野 孝幸	福岡県立 福岡工業高等学校 校長	平成29年4月1日～ 平成31年3月31日	高等学校関係者
太田 昌宏	愛知産業大学 准教授	平成29年4月1日～ 平成31年3月31日	有識者

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例) 企業等委員、PTA、卒業生、校長等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ 毎年9月)

URL:<http://www.asojuku.ac.jp/disclosure/>

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

企業等との連携及び協力により、実践的な職業教育の質の向上を推進するため、教育活動及び学校運営の状況について情報を提供する。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	学校法人の沿革、教育の目標、学則、諸規程
(2) 各学科等の教育	学科の教育方針、年次別目標、目標資格、カリキュラム、進級・卒業要件、他
(3) 教職員	教員一覧、専任・兼任教員数
(4) キャリア教育・実践的職業教育	グローバルシティズンベーシック、インターンシップ、教育課程編成委員会
(5) 様々な教育活動・教育環境	学園祭、ボランティア活動、クラブ活動
(6) 学生の生活支援	臨床心理士による学生相談室、ハラスメント相談、留学生支援、障がい者支援
(7) 学生納付金・修学支援	金額・納付時期、分割納入制度、授業料減免、奨学金、被災地支援
(8) 学校の財務	貸借対照表、収支計算書、監査報告書
(9) 学校評価	自己点検・評価、学校関係者評価
(10) 国際連携の状況	インドネシアのBINUS大学、留学生専用学生寮
(11) その他	なし

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

パンフレット、募集要項、学生便覧、Webサイト
 URL:<http://www.asojuku.ac.jp/aadc/>

授業科目等の概要

(工業専門課程 ビジュアルデザイン科) 平成29年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			ビジュアルデザイン演習Ⅰ	デザインワークの中でも「アイデア力」の基礎強化、習得を目的とする。	1後	60	4		○		○		○		
○			就職実務ⅠA	就職活動における、書類制作や面接についてより具体的な作業を行う。	1前	30	2	○			○		○		
○			就職実務ⅠB	通年科目なので、上記Aの後期単位としての科目登録。	1後	30	2	○			○		○		
○			Illustrator演習	Adobe Illustratorの基本操作と、それにともなった演習を行う。	1前	30	2		○		○			○	
○			Photoshop 演習	Adobe Photoshopの基本操作と、それにともなった演習を行う。	1前	30	2		○		○			○	
○			DTP概論Ⅰ	DTP実務にて必須となるデータの入稿方法など基礎知識を演習形式で学ぶ。	1前	30	2		○		○			○	
○			DTP演習Ⅰ	DTP実務にて必須となるデータの入稿方法などを実践に則した形で習得する。	1後	60	4		○		○			○	
○			コピーライティングⅠA	広告物の企画制作に必要なライティング能力を学ぶ。	1前	30	2	○			○		○		
○			コピーライティングⅠB	通年科目なので、上記Aの後期単位としての科目登録。	1後	30	2	○			○		○		
○			デッサン・クローキーA	静物・石膏などの立体物を主に、デッサンの基礎を学び、描画力を身につける。	1前	60	4		○		○		○		
○			デッサン・クローキーB	通年科目なので、上記Aの後期単位としての科目登録。	1後	60	4		○		○		○		
○			色彩学A	ビジュアルデザインで重要となる色彩学を学ぶ。	1前	30	2	○			○		○		
○			色彩学B	通年科目なので、上記Aの後期単位としての科目登録。	1後	30	2	○			○		○		

(工業専門課程 ビジュアルデザイン科) 平成29年度

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			PCリテラシー	MicrosoftOfficeの基礎知識と基本操作を習得する。情報リテラシーを身につける。	1前	30	2		○		○		○		
○			一般教養 I	就職試験対策を主に、基礎学力の向上を目指す。	1前	30	2	○			○		○		
○			デザインリテラシー	著作権やデザイン文化など、デザイナーとしての一般的教養を学ぶ。	1後	30	2	○			○			○	
○			ビジネスマナーA	本校ではデザインスキルの習得のみではなく、社会で必要なビジネスマナーも学ぶ。	1前	30	2	○			○		○		
○			ビジネスマナーB	通年科目なので、上記Aの後期単位としての科目登録。	1後	30	2	○			○		○		
○			プレゼンテーション I	各自が作ろうとしている物を知ってもらうためのプレゼンテーションを学ぶ。	1前	30	2		○		○			○	
○			InDesign 演習 I	Adobe InDesignの基本操作と、それにともなった演習を行う。	1後	30	2		○		○		○		
○			Webデザイン演習 I	Webデザインにおける、ビジュアルデザインに関するリテラシーと制作手法を学ぶ。	1後	30	2	○			○		○		
○			Web基礎演習 A	Webの基本的な仕組みの理解と HTMLとCSSの仕組みを理解する。コードの意味を理解し、Dreamweaverでマークアップできるようになる。	1前	30	2		○		○		○		
○			Web基礎演習 B	通年科目なので、上記Aの後期単位としての科目登録。	1後	60	4		○		○		○		
○			GCB I	グローバルシティズンの育成をめざし、感謝心と思いやりをもった人材を養成する。	1前	15	1	○			○		○		
○			GCB II	グローバルシティズンの育成をめざし、ビジョンと志をもった人材を養成する。	1前	15	1	○			○		○		
	○		パッケージデザイン専攻 I (※A)	パッケージ制作に必要なスキルや考え方を学ぶ。 ※A	1前	30	2	○			○		○		
	○		エディトリアル上級専攻 I (※A)	Adobe InDesignを使用した、誌面構成を主体として学ぶ。 ※A	1後	30	2	○			○		○		

(工業専門課程 ビジュアルデザイン科) 平成29年度

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
	○		デジタルフォト専攻Ⅰ(※A)	一眼レフカメラを使用した撮影技法を学ぶ。 ※A	1前	《30》	《2》	○			○		○		
	○		Webデザイン専攻Ⅰ(※A)	キャラクターや挿絵制作に関するスキルと考え方を学ぶ。 ※A	1後	《30》	《2》	○			○		○		
	○		イラストレーション専攻Ⅰ(※A)	キャラクターや挿絵制作に関するスキルと考え方を学ぶ。 ※A	1後	《15》	《1》	○			○		○		
○			ビジュアルデザイン演習ⅡA	デザインワークの中でも「アイデア力」の基礎強化、習得を目的とする。	2前	60	4		○		○			○	
○			ビジュアルデザイン演習ⅡB	通年科目なので、上記Aの後期単位としての科目登録。	2後	60	4		○		○			○	
○			卒業制作A	展示会を目的とし、各自がテーマを持ち学科を象徴した作品群の制作を行う。	2後	60	4	○			○			○	
○			卒業制作B	卒業制作Aと同内容。授業単位調整のための科目登録。	2後	60	4		○		○			○	
○			就職実務ⅡA	就職活動における、書類制作や面接についてより具体的な作業を行う。	2前	30	2	○			○		○		
○			就職実務ⅡB	通年科目なので、上記Aの後期単位としての科目登録。	2後	30	2	○			○		○		
○			プレゼンテーションⅡ	資料の演出やストーリーを意識した高度な演習を行う。	2前	30	2		○		○			○	
○			WEBデザイン演習Ⅱ	現実的なWEBサイトの構築を学ぶ。	2前	60	4		○		○		○		
○			DTP演習ⅡA	DTPでの入稿データ制作を目的とした、極めて実務に近い実技演習を行う。	2前	60	4		○		○			○	
○			DTP演習ⅡB	通年科目なので、上記Aの後期単位としての科目登録。	2後	60	4		○		○			○	
○			ペイント技法A	エンボスカードやポスターや絵画の制作を行う。	2前	60	4		○		○		○		

(工業専門課程 ビジュアルデザイン科) 平成29年度

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			ペイント技法B	通年科目なので、上記Aの後期単位としての科目登録。	2後	60	4		○		○				
○			一般教養Ⅱ	就職試験対策を主に、基礎学力の向上を目指す。	2前	30	2	○			○				
○			ブランディングデザイン	制作物を一連の統一されたデザイン郡として捉えたブランディングを行う。	2後	30	2		○		○			○	
○			デザイン概論A	広告・企業とデザインといった視点から、体系化されたデザイン論を学ぶ。	2前	30	2		○		○			○	○
○			デザイン概論B	通年科目なので、上記Aの後期単位としての科目登録。	2後	30	2		○		○			○	○
○			作品制作	コンペティションを主体とした、デザインリテラシー向上を目的とした作品制作を行う。	2後	30	2		○		○			○	
○			InDesign 演習Ⅱ	前期(Ⅰ)の2年目となる。より高度で実務的な演習を行う。	2前	30	2		○		○			○	
	○		パッケージデザイン専攻ⅡA(※B)	前記(Ⅰ)の2年目となる。より高度で実務的な演習を行う。	2前	30	2		○					○	
	○		デジタルフォト専攻ⅡA(※B)	前記(Ⅰ)の2年目となる。より高度で実務的な演習を行う。	2前	《30》	《2》		○					○	
	○		エディトリアル上級専攻ⅡA(※B)	前記(Ⅰ)の2年目となる。より高度で実務的な演習を行う。	2前	30	2		○					○	
	○		Webデザイン専攻ⅡA(※B)	前記(Ⅰ)の2年目となる。より高度で実務的な演習を行う。	2前	《30》	《2》		○					○	
	○		イラストレーション専攻Ⅱ(選択)	前記(Ⅰ)の2年目となる。より高度で実務的な演習を行う。	2後	《15》	《1》		○					○	
	○		パッケージデザイン専攻ⅡB(※C)	通年科目なので、上記Aの後期単位としての科目登録。	2後	15	1		○					○	
	○		デジタルフォト専攻ⅡB(※C)	通年科目なので、上記Aの後期単位としての科目登録。	2後	《15》	《1》		○					○	

(工業専門課程 ビジュアルデザイン科) 平成29年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
	○		エディトリアル専攻ⅡB(※C)	通年科目なので、上記Aの後期単位としての科目登録。	2後	15	1		○					○	
	○		Webデザイン専攻ⅡB(※C)	通年科目なので、上記Aの後期単位としての科目登録。	2後	《15》	《1》		○					○	
合計			57科目			1830単位時間 (122単位)									

※選択必修科目は※A、※B、※Cの中から、それぞれ2科目を選択する。

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
①最終学年の終了時において、履修すべき全授業科目（実習を含む）に合格し、当該学年における単位数を取得していること。 ②出席率が当該学年の出席時間数の90%以上であること。 ③国土交通省が定めた規定の時間を満たした者 ④学生としてふさわしい生活態度であること。 上記基準を満たせない者は、他の成績科目、出席状況などを参考に卒業判定会議により判定する。	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。